

準寒冷地版 自立循環型住宅設計講習会

明けましておめでとうございます。

エネルギー消費 50%削減を目指す住宅設計「準寒冷地版 自立循環型住宅設計講習会」を開催しますのでご案内いたします。

内容はわかりやすく資料集としても十分役立つ400ページを超える書籍であります。テキストのみの頒布はなく、6時間の講習を受けることが必要ですが、3人の講師陣による丁寧な説明をしていただけます。対象は建築関連の皆様としての100名限定の講習会です。お早めにお問い合わせをお願い致します。

=====

詳細：申し込む書 兼 受講票は添付をご覧ください 別紙をご覧ください

=====

長野県の県条例である建築物環境エネルギー性能検討制度も今年1月8日からは建築確認にあたりその書類の添付が義務づけられました。住環協は、計算による性能表示と実測に基づく性能表示は性能認証の両輪であるとの立場で長野県の省エネ検討の義務化、及び2020年に省エネルギー基準適用義務化に向けての動きを賛同しております。

住宅の関心は、ますます車の燃費の様にエネルギー消費に目が向けられてきます。算出の単位 kWh は電力会社からの毎月の電気使用量で判りますし、これから参入する売電会社との比較には必ず使われる単位ですし、インターネットサービスで知ることも容易にできるようになります。

そして、車のガソリンの使用単位リッター/kmと同じ概念で住宅の燃費は、延べ床面積当たりの kWh/m² となって小さいほど省エネでありますので、家計を握る主婦が注目する数値になります。

真の住まい通信 no. 33 2015年12月の総エネルギー消費についての性能評価表示を整理統一して性能分布を作成しました。住環協の A, A⁺, A⁺⁺, A_{under}、併記☆5, ☆6, ☆7, ☆8の4ランクと国の省エネルギー対策等級2, 3, 4, 5をピラミッド型にして表示しています。**住環協 HP** でご覧になれます。

data を蓄積されて行くと自社の位置づけなどはわかるとともに、顧客にも信頼のある実証 data として有効に使えます。

住環協としては data 収集を最優先としますので、各位と住環協とで既存住宅（例えば2000年から2012年）の data を収集して解析評価をする共同研究として安く価格設定でご提案したい考えです。**ご関心ある方は真の住まい通信 no. 33-2, 3 補足で御案内しました説明会を随時、開催致しますので事務局にご連絡ください。**

2016年1月14日

一般社団法人住建物の音熱環境性能表示推進協会
略称“住環協” 理事長 信州大学名誉教授山下恭弘
〒380-0928 長野県長野市若里 4-5-6
Tel 026-213-4092 Fax 026-213-4963
Mail : yamalab@angel.ocn.ne.jp
H P : <http://shinnosumai.com/>

